

## 事業系ごみにおける業種別組成調査（速報）

### 1 調査概要

可燃ごみとして事業所から排出されるごみを業種別に収集し、その組成を調査することで、排出実態や業種の違いによる排出ごみの特徴等を把握するもの。

### 2 調査対象

6業種区分(オフィスビル、飲食店、小売店、ホテル、学校、官公庁)から抽出した事業所

### 3 調査期間

令和6年9月17日～10月9日

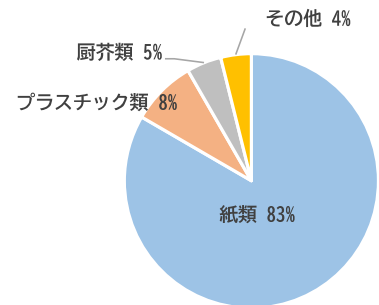
## ◎調査結果（概要）

### (1) オフィスビル（事務所ビル）

紙類が8割強を占めていた。

そのうち、新聞紙や雑誌、シュレッダーくずなどのリサイクル可能なものの比率が高かった。

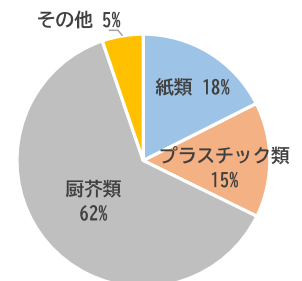
(全体の75%)



### (2) 飲食店（ファーストフード、居酒屋、ファミリーレストラン）

厨芥類が6割強を占めていた。

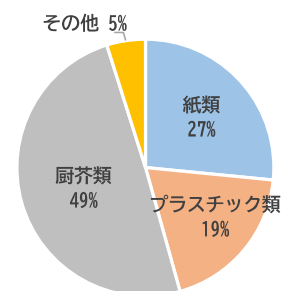
なお、ファーストフードでは、賞味期限切れの未開封の食品（全体の45%）、居酒屋では調理くず（全体の34%）、ファミリーレストランでは、調理くずと食べ残し（それぞれ全体の20%）の比率が高かった。



### (3) 小売店（スーパー、ショッピングモール、コンビニエンスストア）

厨芥類が構成比の5割弱あったほか、紙類とプラスチック類が2割程度を占めていた。

なお、スーパーとショッピングモールでは調理くず、コンビニでは賞味期限切れの未開封の食品の比率が高かった。（それぞれ全体の20%程度）



### (4) ホテル・旅館（ビジネスホテル、旅館）

紙類、プラスチック類、厨芥類がそれぞれ2割から3割程度を占めていた。

そのうち旅館では調理くずや食べ残し（それぞれ全体の15%程度）、ビジネスホテルでは食べ残し（全体の24%）の比率が高かった。

